

西戸崎の街並みをアメリカ風に!!

10月24日(土)・25日(日)、造形短期大学部の学生40人が、西戸崎(福岡市東区)にある9つの店舗のシャッターなどにアメリカをテーマにした絵を描きました。

西戸崎にはかつてマリリン・モンローが訪れた米軍基地があり、志賀商工会によるまちおこし「SAITOUZAKI アメリカ再現プロジェクト」の一環として実施したものです。

学生たちは、チームごとに9月からアメリカをテーマにしたデザインを考案。

自由の女神やマリリン・モンロー、アメリカン・コミックのキャラクターなど37点の絵を描きました。



硬式野球部の岩田 将貴投手が阪神タイガースへ

硬式野球部の岩田 将貴 投手(経営学部4年)が、10月26日(月)に行われた新人選手選択会議(ドラフト会議)で、阪神タイガースから育成1位で指名されました。

これに伴い、11月4日(水)には、阪神タイガースの畑山俊二統括スカウトと田中秀太スカウトが、岩田投手の指名挨拶のため来学しました。

岩田投手は、「まずは支配下登録を目指し、試合終盤のイニングを任せられるピッチャーになりたい」と意気込みを語りました。



商学部の秦 小紅講師が学会賞受賞!!

商学部 経営・流通学科の秦小紅講師が執筆した『現地市場における国際総合小売企業の発展プロセス研究—成都イトーヨーカ堂の事例を中心に—』(五紘舎)が、企業の国際化に関する優れた研究に対して贈られる「第11回多国籍企業学会賞」の「単行本の部」で学術研究奨励賞を、流通に関する優れた研究に対して贈られる「第24回日本流通学会賞」の学会奨励賞を受賞しました。本書は、小売国際化に関する丹念な先行研究調査を踏まえたうえで、中国・成都イトーヨーカ堂の発展プロセスを詳細なケース・スタディーによって解明するもので、多くの既存研究が現地子会社(本書の場合、成都イトーヨーカ堂)の言説のみで構成されているのに対し、現地供給業者(メーカーや卸売業者)にも調査範囲を広げた点が特長です。



よかところ93

令和三年
新春号
Vol.13

モノクロ写真をカラー写真に復元!!

芸術学部ソーシャルデザイン学科4年の伊藤晃生さんが、11月5日(木)・6日(金)にはかた伝統工芸館(福岡市博多区上川端町)で、地域の方々の思い出のモノクロ写真を修復してカラー化するワークショップを実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった博多祇園山笠や博多どんたくに替わって地域を笑顔にするとともに、文化や歴史に改めてスポットを当てたいと企画したこのワークショップは、持参していただいたモノクロ写真をデジタルデータ化し、破損している部分を修復して着色、89mm×127mmの写真サイズに印刷して無料でお渡しするものです。伊藤さんは、「記憶に近いカラー化」を実現するため、AIによる自動着色ではなく手作業で実施。撮影当時の場所や天気、衣服の色などについてヒアリングを行いながら、作業を進めました。



感染症流行下での避難所運営を実施しました!!

11月15日(日)、近隣の自治協議会と合同で「大楠アリーナ2020」において、避難所運営訓練を実施しました。

11月11日(水)に福岡市と「災害時における施設等の利用協力に関する協定」を締結し、本学の施設が地域の避難者を一時的に収容する「臨時避難所」および「物資の二次集積拠点」として機能することになって初めてのこの日の訓練には、本学教職員や学生、近隣の方々、福岡市消防局、福岡県警察、福岡みらい病院、福岡和白病院など合計約130人が参加しました。

今春完成した「大楠アリーナ2020」は災害時に地域の方々の避難場所として利用されることを想定して設計しており、感染症対策で一人当たり4㎡を確保した場合、約500人の避難者を収容できます(通常時は約4,000人)

また、毛布や水などを備蓄するほか、非常時に簡易トイレとなる「マンホールトイレ」や炊き出しのための「かまどベンチ」などを設置しています。



よかところ93(きゅうさん)とは?

九州産業大学は地域に根ざした「地域密着型大学」を目指しており、地域の方々に本学を身近に感じていただくことを目的に、年に4回発行する季刊誌です。

九州産業大学 総務部 学外連携課(廣瀬)

【お問い合わせ先】

〒813-8503 福岡市東区松香台2丁目3番1号

TEL: 092-673-5495 FAX: 092-673-5599

E-mail: gakugairenkei@ml.kyusan-u.ac.jp

必ず、カタチにしてみせる。

九州産業大学
KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

九州産業大学造形短期大学部
KYUSHU SANGYO UNIVERSITY, ZOKEI JUNIOR COLLEGE OF ART AND DESIGN

本学学生及び教職員が様々な地域で ボランティア活動中!!

大牟田市

2020年10月31日(土)

大牟田市復興支援ボランティア

実施内容

豪雨により被災した田んぼの
水路復旧、流木の撤去、土砂出し

参加者
学生41名
・硬式野球部
・空手道部
教職員3名
計44名



東峰村

2020年11月7日(土)

九州北部豪雨復興支援 ボランティア活動

実施内容

河川の氾濫で多くの土砂や
石が入った田んぼから石を
取り除く作業
九州大学、三谷先生の講義
受講

参加者
学生24名
・授業で参加
した学生
教職員3名
計27名



名島海岸

2020年11月14日(土)

海ごみゼロボランティア活動

実施内容

海岸に流れ着いたゴミ拾い

「海ごみゼロ活動」とは?
環境省と日本財団が共同で
「海ごみゼロ」を合言葉に
全国的に推進している海洋
ゴミの清掃活動です。

参加者
学生27名
・自主的に参加
した学生
・サッカー部
教職員4名
計31名



大牟田市

2020年11月21日(土)

大牟田市復興支援ボランティア

実施内容

災害で倒れかけている田んぼの
間のブロックの仕切りをハンマー
で粉砕・運び出し水を含んで
重くなった土砂を取り除く作業

参加者
学生15名
・自主的に参加
した学生
教職員3名
計18名



大牟田市

2020年11月28日(土)

大牟田市復興支援ボランティア

実施内容

豪雨により被災した田んぼの
土砂出し、水路関係、土嚢を積む
作業

参加者
学生28名
・自主的に参加
した学生
教職員4名
計32名



朝倉市

2020年12月4日(金)

朝倉農業ボランティア

実施内容

被災後、人手不足となっている
柿農園の収穫作業

参加者
学生5名
・自主的に参加
した学生
教職員3名
計8名



福岡未来創造プラットフォーム 共同開講科目「SDGsを学ぶ」を開催しました。

本学を含む15大学と福岡市、福岡商工会議所、中小企業経営者協会が
加盟している「福岡未来創造プラットフォーム」の事業の一つとして、
11月29日(日)・12月1日(火)・5日(土)・6日(日)の4日間にわたり
共同開講科目「SDGsを学ぶ」を開講しました。

授業担当責任者は本学の秋山 優 副学長で、8大学から31名が参加し、
SDGsに関する講義の他、カードゲームやボードゲームを使用した
ゲーミフィケーション、現地学習、SDGsを自分事化するワークショップ
を通して、SDGsについて学びを深めました。

受講生は「SDGsについて様々な視点から学ぶことができました。
協働することの大切さや、2030年までの有限な時間をどう過ごすのか、
何をしていくのか考える必要性を改めて感じました」と語りました。
なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら実施しました。

共同開講科目「SDGsを学ぶ」を担当した教職員

九州産業大学	地域共創学部	秋山 優 教授
	地域共創学部	垣迫 裕俊 教授
	商学部	間間 理 教授
	基礎教育センター	中世古 貴彦 講師
	学生部	一ノ瀬 大一 係長
北九州市立大学	地域創生学群	眞鍋 和博 教授
福岡工業大学	社会環境学部	藤井 洋次 教授
福岡女子大学	国際文理学部	ジャヤセーナ・パスマシリ 教授

